

sangetsu

Joy of Design

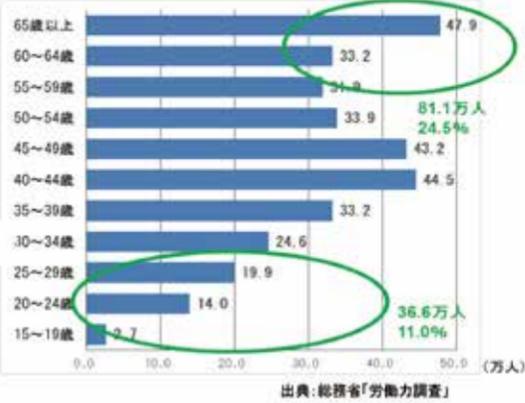
# 日装連新聞

4月号 2018/平成30年 No.491

発行所 日本室内装飾事業協同組合連合会  
Japan Interior Decoration Association (JIDA)

〒105-0003 東京都港区西新橋3-6-2 西新橋企画ビル8F  
Tel(03)3431-2775 Fax(03)3431-4667  
月刊●毎月15日発行●講読料 年間2,400円 1部200円

年齢階層別の建設技能労働者数



## 国土交通省 建設業の働き方改革を本格化

### 「建設業働き方改革加速化プログラム」策定

#### 長時間労働の是正と給与・社会保険加入をさらに推進

安倍晋三首相は、平成28年9月、「一億総活躍社会」をスローガンに掲げ、内閣官房に「働き方改革実現推進室」を設置し、「働き方改革」の取り組みを提唱した。それを受けて国土交通省では、建設業における働き方改革の取り組みをスタート、さる3月20日には具体的な施策として、長時間労働の是正、給与・社会保険、生産性向上の3分野を柱とした「建設業働き方改革加速化プログラム」を策定した。

大手ゼネコンを中心に官民一体となって推進されるであろう建設業の働き方改革であるが、当然ながら内装工事業もその対応が求められる。

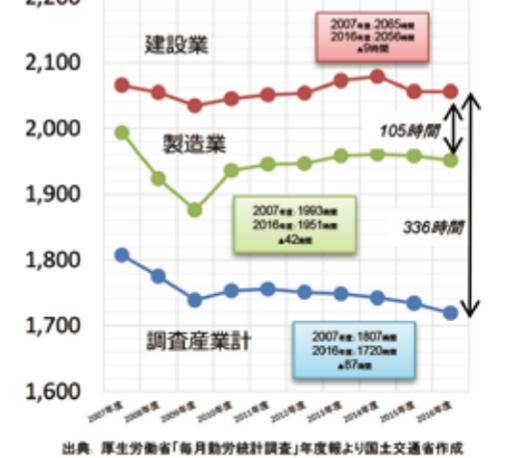
もはや国難ともいえる働き方高年齢化によって、日本全体の生産年齢人口が減少していく中、建設業の担い手不足は深刻さを増している。

左上のグラフ「年齢階層別の建設技能労働者数」をみても分かる通り、現在60歳以上の高齢技能者（約81万1000名）が約1/4の割合を占めているが、概ね10年後には、その世代の大量離職が見込まれている。その一方、それを補うべき若手の技能者はまったく足りていないのが実情だ。さらに切実なのが、建設業に入職する若者がなかなか増えないことだ。

その原因が給与や社会保険といった処遇面、そして労働環境問題である。処遇面については、近年徹底して行われた社会保険未加入対策、それに対応した設計業務単価の上昇といった取り組みにより、まだまだ不足しているものの改善傾向がみられるが、労働環境については、長時間労働が常態化しており、人手不足も相まって改善する気配はまったくない。

労働時間を具体的に比較してみると、建設業と全産業平均では年間3000時間以上の差があり、よ比較対象となる製造業と比べても年間105時間も多くなっている。今や当たり前になっ

年間総実労働時間の推移



ま、長時間労働の是正が求められる。今や当たり前になっ

このように、建設業における働き方改革は、国交省がこれまで取り組んできた各施策の総仕上げとして、連動しながら本格的に進んでいくことになる。内装工事業としては、一人親方の処遇をはじめ単純に当てはめられない問題も多いが、この改革を進めていくためには人材の確保は今後ますます難しくなるのは間違いない。

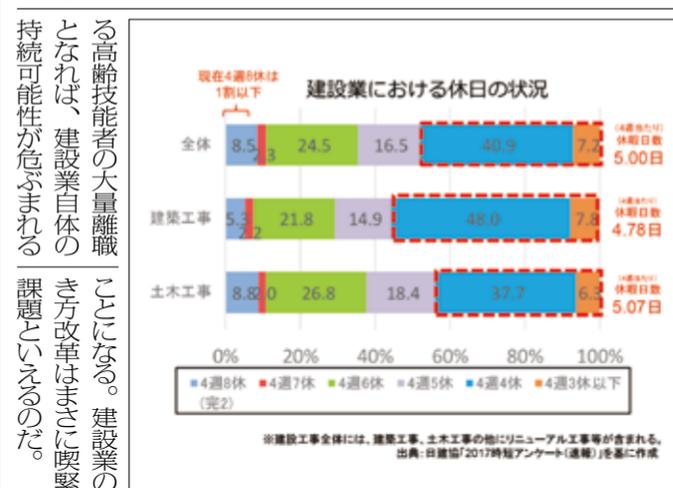
こうした状況も踏まえ、日装連新聞では今後働き方改革の状況についてレポートしていく。

### 週休2日制導入を後押し 社会保険加入をミニマムスタンダードに

こうした危機感を背景に策定されたのが「建設業働き方改革加速化プログラム」である。その取り組みは、長時間労働の是正、給与・社会保険、生産性向上の3点がセットとなっている。

まず長時間労働の是正については、週休2日制の導入を後押しする。具体的には公共工事において、週休2日対象工事の適用を大幅に拡大、民間工事でもモデル工事を施行するとともに、週休2日制実施にともなう必要経費の計上も行う。

また建設業はこれまで時間外労働規制(36協定)の適用除外となっていたが、来年に見込まれる労働基準法の改正によって建設業にも適用される予定である。こちらも非常に気になる動きであるが、「建設業働き方改革加速化プログラム」では、改正後も5年間は猶予期間が設定されることになっているところ、働き方改革の緊急性を鑑み、猶予期間を前倒しして取り組みを進めようとしている。



こととなる。建設業の働き方改革はまさに喫緊の課題といえるのだ。

そして生産性向上の取り組みについては、建設業許可等の手続き負担の軽減(申請の電子化)、「建設キャリアアップシステム」活用による書類作成効率化、あるいは限られた人材の効率的活用を促進するため、年度末に偏らないよう施工時期の平準化をさらに進めていく。

以上のように、建設業における働き方改革は、国交省がこれまで取り組んできた各施策の総仕上げとして、連動しながら本格的に進んでいくことになる。内装工事業としては、一人親方の処遇をはじめ単純に当てはめられない問題も多いが、この改革を進めていくためには人材の確保は今後ますます難しくなるのは間違いない。

こうした状況も踏まえ、日装連新聞では今後働き方改革の状況についてレポートしていく。



## THE DENIM FLOOR

真正正銘のデニム生地を、置き敷きビニル床タイルに組み合わせました。味わい深いデニムの魅力を、インテリアとして楽しむことができる、まったく新しい床材です。

デニムフロアシリーズは、デニム生地を用いた置き敷きビニル床タイルのほか、デニムをイメージしたカーペットタイル、コンボーションビニル床タイル、複層ビニル床タイル、複層ビニル床シートをラインナップしています。

## HAMPSHIRE GARDENS

ENGLISH DESIGN AGENCY  
WALLCOVERINGS AND FABRICS COLLECTION

2018.3.8 NEW RELEASE

サンゲツのオリジナルブランドEDAがお届けする、「ファブリックと壁紙のトータルコーディネート」英国らしい上質なデザインを繊細なニュアンスカラーで表情豊かに表現。

sangetsu Joy of Design 株式会社サンゲツ www.sangetsu.co.jp



# 日装連会議録

## 常任理事会

### 住宅リフォーム事業者団体登録に向け

### 一般社団法人を5月末までに設立へ

日装連は3月22日13時、半日装連会議室において常任理事会を開催した。

報告事項は3月20日までの各グループ支給状況、化粧フィルム機能検定の実施組合の状況並びに進捗状況、プラスチック床材テキスト委員会、平成30年度登録内装仕上基幹技能者講習予定、建設キャリアアップシステムの状況等であった。

最初に3月20日までのラベル支給枚数であるが、最終数字ではないが、防炎ラベルが前年比97%、敷物ラベルが100%、壁装ラベルが100%、合計で99%となり、予算設定の97%を超えることができるという報告であった。

次に、化粧フィルム機能検定の報告に移り、各組合にアンケートをお願いした、平成30年度の機能検定実施組合の状況が報告された。全国で36組合34か所となり、予想受検者数も345名程度となっている。4月4日から受検申請がはじまるが、これらの状況と合わせて、受検人数調整の件や水準調整会議の件など、5点の注意事項を3月13日に各組合に書面とメールで送付した報告があった。

続いて、プラスチック床材テキストの第2回編纂会議について報告があった。第1回に続き、田島ルーフィング、東リ、ロンシール工業各社から編纂委員としてお越しいただき、日装連会議室にて開催した。基礎編について修正箇所の検討をし、分担して次回までに修正原稿作成とする。今後、同様に施工編も進めて行く予定。年内の発刊を目指す。

続いて、登録内装仕上工事基幹技能者講習についての報告があった。日装連新聞3月号に詳細が載っているが、平成30年度は9会場で開催される。また、各県の日装連関係の累計登録者が728名となっているが、各都道府県別の分布状況を見ると、まだまだ少ない県も多く、積極的な受講を薦めていくことが必要であることが確認

されているが、かなり難しい作業になっている。

続いて、平成30年度の建設マスター・ジュニア建設マスターの候補者について報告があった。候補者については前回の常任理事会で報告し、承認をいただいているが、国交省への申請を2月末に済ませたとの報告があった。

そして最後に公共工事設計労務単価について報告があった。平成30年度の単価は6年連続のアップとなり、平成24年度比43.3%アップとなった。社会保険未加入対策の観点から、必要な法定福利費相当額を反映させるための取り組みの結果である。

続いて審議事項の検討

審議事項は平成29年度事業決算予測、住宅リフォーム事業者団体登録事業の進捗、日装連インターネットアデコレーター社内検定認定の進捗、全国組合員に対する実態調査等であった。

平成29年度事業決算予測は2月までの損益では赤字となっているが、最終的には黒字になる説明が行われ承認された。

続いて、住宅リフォーム事業者団体登録事業の進捗、および一般社団法人設立について審議した。全組合に募集推薦をお願いし、3月末に締め切ったリフォーム事業者会員推薦は、122社となった。そして、一般社団法人の立上げを5月末

とし、設立発起人を西浦理事長と小坂田副理事長とする。名称を一般社団法人日装連リフォーム推進協議会とすることなどが決められた。立ち上げ後の運営計画、日程等を事務局にて早急に詰めていくことが承認された。

日装連インターネットアデコレーター社内検定認定については、三菱UFJリサーチとの打ち合わせ状況の進捗について報告された。また、「内装士制度」から「日装連インターネットアデコレーター（ID）制度」と日装連定款変更案として「内装士教育委員会資格委員会」という委員会の名称を「ID・教育資格委員会」とする変更案が確認された。

西浦光（理事長、香川）、川瀬修一（副理事長、愛知）、和田則雄（副理事長、福岡）、角田健（副理事長、埼玉）、富澤宏（副理事長、東京）、小坂田達朗（副理事長、大阪）、山崎正通（専務理事、日装連）、金本幾夫（事務局長、日装連）、安田貴一（顧問、日装連）

日装連青年部・次世代委員会では、3月23日、沖縄県宜野湾市のカルチャーリゾートフェスト・ネにおいて、沖縄ブロック会ヒアリング会を実施した。日装連からは西浦理事長と青年部・次世代委員会の角田担当副理事長が出席した。沖縄ブロックからは沖協協理事務局長以下18名が参加をした。

ヒアリング会は角田副理事長の司会により進め

られ、西浦理事長の挨拶ではじまった。

日装連の運営、登録基幹技能者、化粧フィルム工事作業、労務単価と社会保険未加入問題、外国人労働者の活用、そして青年部・次世代委員会の活動状況等について、参加者の意見を聞きながら討議を行った。

討議の中で、西浦理事長から、理事長就任後の日装連改革についての説明。化粧フィルム工事作業の検定を沖縄でも開催できるように能力開発協会との協議をしていただきたいこと。香川県の社会保険加入を進める行動基盤。人手不足を補う外国人技能労働者養成を香川を深めた。

## 青年部・次世代委員会

### 沖縄ブロック会 ヒアリング会実施

### 登録基幹技能者、技能検定など課題を討議

の工事が行っていることとの説明及び紹介がなされた。角田副理事長からは青年部・次世代委員会の活動状況と関東ブロックの青年部次世代委員会の平成30年度案の説明が行われた。

やはり、人手不足は沖縄でも大きな問題で、外国人技能労働者養成について、参加者の関心が高かった。

引き続き、専務理事、西浦理事長の挨拶、角田副理事長の乾杯で懇親会に入り、これからの沖縄そして内装業界について熱く語り合い大いに懇親会を深めた。

## 防炎・施工管理委員会

### 一般消費者向け防炎物品PR活動

### 各組合での取り組みに向け協議

日装連は3月23日13時、半日装連会議室において防炎・施工管理委員会を開催した。

川瀬副理事長、細野委員長との挨拶の後、細野委員長長の挨拶の後、細野委員長長の進行で審議に入った。

まず、昨年に全国4会場で行われた「防炎・防火講習会講師養成講習会」の開催内容と、その時に使用し全組合に配布した防火壁装講習会講師



委員会の模様

用パワーポイント資料が報告された。参加者は全国で142名であった。これに関連し、今後も義務化となった防炎業務講習会、防火壁装講習会、同時開催を各組合で継続するよう呼びかけていくことが確認された。

次に、静岡組合、岩手組合が行った一般消費者向け防炎物品PR活動が報告された。日本防炎協会から事業費の一部を援助

していただいていることも踏まえ、今後も同様の活動を広げ、防炎物品及び防炎ラベルの認知が進むよう各組合で検討をしていくべき、という意見が出され、今後も委員会として各組合に周知徹底していくことを決定した。

続いて、登録内装仕上工事基幹技能者講習について審議した。平成29年度は7会場で開催され、平成30年度は9会場で開催

多しことや、講習の受講料は「建設労働者確保育成助成金」の対象にもなっており、委員会としても積極的な受講を薦めていくことを確認した。

次に平成29年度の防炎・防火壁装ラベルの支給状況を確認した。また最終報告ではないが、支給枚数合計では若干の前年比マイナスではあるものの、予算を上回る予定であることが報告され確認された。

続いて社会保険加入の状況が報告された。法定福利費明示について、民間7団体で構成する民間連合で「規定」をする動き、また、「社会保険未加入企業は建設業許可やその更新を認めない」ということを将来的に対応を強化していくという国土交通省の動きが報告された。香川県では「社会保険加入を進めるにあたって守るべき行動基準」が元請企業、下請企業それぞれで宣言書を提出する動きなどがあり、全国的にも進んできた感はあるが、民間の動きや一人親方の社会保険加入の問題も含め、日装連としてはまだまだ今後も注視していく必要があることが確認された。

続いて、建設キャリアアップシステムの進捗状



懇親会の様子

況が国土交通省の資料に基づき事務局より説明された。4月登録開始、10月運用開始予定である。

最後に平成29年度の防炎・施工管理委員会の事業報告(案)と平成30年度の事業計画(案)が事務局より上程され、原案通り承認されて閉会となった。

【出席者】  
川瀬修一（副理事長、愛知）、細野呼伎（委員長、岩手）、増渕千信郎（委員、茨城）、中村武久（委員、三重）、今井憲明（委員、京都）、月野暎史（委員、鹿児島）、山崎正通（専務理事、日装連）、金本幾夫（事務局長、日装連）、押谷昭継（事務局、日装連）

日装連のキャラクターマーク

インテリア・TORI・KAERU

日本室内装飾事業協同組合連合会

# 「内装士」の名称を 「日装連インテリアデコレーター」に変更

さる3月9日に開催した、内装士・教育資格委員会WG会、および3月22日開催の常任理事会の討議を経て、永らく日装連において定款事業としての資格と言われてきた「内装士」の名称が、「日装連インテリアデコレーター」変更されることとなった。

現在、厚生労働省と進められている厚労大臣認定資格(社内検定認定)への挑戦作業の中で、厚労省から、現在の「内装士」では国家資格と混同してしまつておそれがあるとして、名称を変更するようなどの指導があった。それを受け、一昨年の通称として「内装士(日装連インテリアデコレーター)」と表現してきた。

それをこのたび、正式に「日装連インテリアデコレーター」という名称に変更する。

今後の手続きについては、5月14日開催の理事会、ならびに6月8日開催の第52回通常総会において討議し、定款(第2章第7条の(7)の部分)の「内装士制度に関する事業」を「日装連インテリアデコレーター制度に関する事業」として再スタートする。

また定款の変更に合わせて、現在の委員会名称「内装士・教育資格委員会」についても「ID・教育資格委員会」に変更される。

なお、平成30年度(第36次)日装連インテリアデコレーター試験は、10月5日に実施される予定である。

## インテリア解体新書

145

インテリア文化研究所 本田 榮一



も不思議ではない年齢差の美女が座り、私に微笑んでいる。美女は彼の秘書兼愛人で、大っぴらな点がいかにインテリア系らしい。

筆者のハイムテキスタイル展(以下ハイムと略)視察は通算33回目だが、忘れられない名前がある。イタリア系ドイツ人デザイナーのルイジ・コラーニ氏だ。

彼との最初の邂逅は、今から六年前のハイムのマルブルク社ブースであった。ブース奥の席に自動車専門誌でフェラーリ社の大物デザイナーとして紹介されていた、髭に特徴のあるコラーニ氏が座っているではないか。そして隣には孫と呼んで

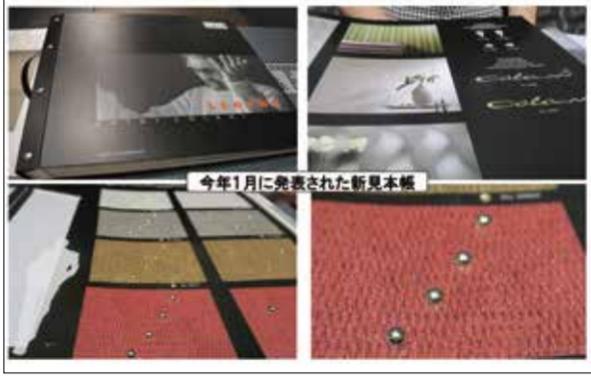
## 世界最高齢の現役デザイナーは 親日家のルイジ・コラーニ氏

親日家のルイジ・コラーニ氏

た。外観デザインが斬新なことに驚いたが、内部も不思議な声をおきながら、6年前にマルブルク社ブースで出会ったルイジ・コラーニ氏で、ここまで縁があると、

彼の人となりを知らなくなりウィキペディアで調べたところ、日本と縁の深いことが次々と判明する。かつて私はニコンのルイジ・コラーニ氏は現在90歳になる。間違いなく現役デザイナーとしてこのカメラの外観で活躍して欲しい気持ちで一杯だ。

彼のデザインだといふ。親日家で日本にはたびたび来日している、インテリアデザインも手掛けるルイジ・コラーニ氏は現在90歳になる。間違いなく現役デザイナーとしてこのカメラの外観で活躍して欲しい気持ちで一杯だ。



日装連行事	内容
4月	18、20日【千葉】登録内装士工事基幹技能者講習
5月	26日 常任理事会 27日 総務委員会
6月	8日 常任理事会・第23回
7月	5日 登録内装士工事基幹技能者試験・講習委員会 6日 常任理事会 11、13日【福岡】登録内装士工事基幹技能者講習
8月	25、27日【鹿児島】登録内装士工事基幹技能者講習
9月	1、3日【東京】登録内装士工事基幹技能者講習
10月	5日 平成30年(第36次)日装連インテリアデコレーター試験
11月	12、14日【神奈川】登録内装士工事基幹技能者講習 19日 日装連理事・全国組合理事長会 20、22日【静岡】登録内装士工事基幹技能者講習

## 建設キャリアアップシステム

一般財団法人建設業振興基金(内田俊一理事長)は、今年10月にスタートする予定の「建設キャリアアップシステム」について、特別講習受講者を対象に、登録申請の先行受付を開始した。

対象となるのは、「登録基幹技能者特別講習」および「若年技能者特別講習」の受講者。

また一般の受付開始は、郵送申請は5月上旬、インターネット申請については5月下旬、窓口の開設は6月以降を予定している。

なお建設キャリアアップカードの発送は5月下旬以降順次行われる。

## 特別講習受講者対象に 登録申請の先行受付を開始

国土交通省は、4月16日より全国9都市において、既存住宅の性能向上への対応に資するリフォームに対し、費用の一部に優待する「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の概要や支援を受けたいための手続きなどについて説明する。参加費無料。問い合わせは(電話・0120-555-312)まで。

## 「長期優良住宅化リフォーム推進事業」 説明会開催

開催地	開催日	時間	施設名
渋谷	4月16日(日)	13:30~16:30	ベルサール渋谷ファースト
福岡	4月18日(火)	13:30~16:30	福岡県自治会館
広島	4月19日(水)	13:30~16:30	広島国際会議場
名古屋	4月20日(木)	13:30~16:30	名古屋サンスカイルーム
札幌	4月23日(日)	13:30~16:30	ACU(アキュ)-A
仙台	4月24日(月)	13:30~16:30	ハーネル仙台
大阪	4月25日(火)	13:30~16:30	コングレコンベンションセンター
高松	5月10日(木)	13:30~16:30	レクザムホール(香川県民ホール)
新潟	5月11日(金)	13:30~16:30	朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)

### 登録内装仕上工事基幹技能者講習会

## 「建設労働者確保育成助成金」から移行 「人材開発支援助成金」で経費・賃金が助成

本紙3月15日号一面に、登録内装仕上工事基幹技能者講習会のスケジュール(全国9会場)とともに、その受講料の一部(3万円/税込・テキスト代込み)、および講習期間(3日間)の賃金の一部を助成する、「建設労働者確保育成助成金」について掲載した。前号

の時点では、国会での予算成立前のため国土交通省と厚労省による概算要求内容での紹介となったが、さる3月28日の予算成立を経て、4月1日より正式に助成内容が決定したため改めて紹介する。

まず、長らく「建設労働者確保育成助成金」という名称で実施されていたが、今年度より助成目的別に「トライアル雇用の別」に「人材確保等支援助成金」、および「人材開発支援助成金」に統合されることとなった。

登録内装仕上工事基幹技能者講習会の経費助成、賃金助成を担ってきたのは、「建設労働者確保育成助成金」のうちの「技能実習コース」であったが、今年度からは「人材開発支援助成金」の「建設労働者技能実習コース」に変更となった。名称が変わったため注意したい。

次に助成金額についてであるが、概算要求通り

### 申請書類チェックリスト

■計画届 受講開始日の3カ月前から1週間前まで	
人材開発支援助成金(建設労働者技能実習コース(経費助成・賃金助成))計画届(建設事業主用)	建技様式第1号
講習内容が確認できる書類(受講申込書・案内、ホームページ・パンフレット等)	写し(A4サイズ)
■支給申請 受講終了日の翌日から2カ月以内	
人材開発支援助成金(建設労働者技能実習コース(経費助成)(賃金助成)支給申請書)	建技様式第3号
労働保険料概算・増加概算・確定保険料申告書、または労働保険料等納入通知書	写し(A4サイズ)
助成対象となる中小建設事業主、または建設事業主であることを確認できる書類(建設業許可番号が記載された書類、定款、登記事項証明書等)	写し(A4サイズ)
受講者名簿及び人材開発支援助成金(建設労働者技能実習コース(経費助成・賃金助成))の助成金支給申請内訳書	建技様式第3号別紙1
賃金台帳	写し(A4サイズ)
雇用契約書または就業規則、休日カレンダー(所定休日、1日の所定労働時間が確認できるもの)	写し(A4サイズ)
出勤簿、タイムカード等の訓練期間中の出席状況を確認するための書類	写し(A4サイズ)
実施日ごとの科目時間数が分かるカリキュラム	写し(A4サイズ)
技能実習委託契約書または受講申込書(受講料が記載されているもの)	写し(A4サイズ)
領収書(技能実習の内容、1人あたりの受講料、受講者数等の記載のあるもの)	写し(A4サイズ)
事業所確認票(企業全体の被保険者が20人以下で他に雇用保険適用事務所を持っている場合)	建技様式第3号別紙3
生産性要件算定シート、および算定の根拠となる証拠書類(損益計算書、総勘定元帳等)	共通要領様式第2号

平成29年度との変更点は、若年労働者をより優遇するべく、雇用保険被保険者数21名以上の企業の場合で、35歳未満の助成率が高くなり、逆に35歳以上の助成率は低くなっている。

具体的な助成金額であるが、雇用保険被保険者数20名以下の企業で経費助成が2万2500円(受講料の75%)、賃金助成が2万2800円(1日7600円)、合計で4万5300円となる。また雇用保険被保険者

数21名以上の企業では、35歳未満の場合、経費助成が2万1000円(受講料の70%)、賃金助成が1万9950円(1日6650円)、合計で4万950円、35歳以上の場合は経費助成が1万3500円(受講料の45%)、賃金助成が1万9950円(1日6650円)、合計で3万3450円となる。

さらに「生産性要件」を満たす企業の場合は助成金額が増額される。「生産性要件」とは直近の会計年度における生産性が

3年度前と比較して6%以上伸びていること。伸び率が1%以上6%未満の場合でも金融機関から一定の事業性評価(成長性、優位性、事業特性などを総合評価)が認められればその対象となる。この「生産性要件」を満たした場合、雇用保険被保険者数20名以下の企業で経費助成が2万7000円(受講料の90%)、賃金助成が2万8800円(1日9600円)、合計で5万5800円、21名以上の企業では、35歳未満の場合、経費助成が2万5500円(受講料の85%)、賃金助成が2万5200円(1日8400円)、合計で5万700円、35歳以上の場合は、経費助成が1万8000円(受講料の60%)、賃金助成が2万5200円(1日8400円)、合計で4万3200円となる。

合計4万3200円と大幅にアップする。

申請書類は右上表の通りで、講習前(講習の3カ月前から1週間前まで)に計画届として2種類の書類、受講終了後(講習終了後から2カ月以内)に支給申請として11種類の書類を提出する(一部書類は日装連に提出する必要はない)。

また「生産性要件」分として申請する場合は、専用の算定シート、および各勘定科目の額の証拠書類(損益計算書など)の提出が必要となる。申請書類は各都道府県労働局のホームページよりダウンロードできる。

なお、助成は受講者個人ではなく会社に対して行われるもので、必ず会社に支払われる。

### 日本最大級のペットイベント

## 「第8回インターペット」開催 住宅・インテリア業界も注目

登録内装仕上工事基幹技能者は、経営事項審査において3点(1人あたり)の評価ポイントが与えられる他、今秋スタートする「建設キャリアアップシステム」で、ゴールドカードが発給されるなど、さまざまなメリットが付与され、今後もそのメリットが拡大していく方向にあると、ゼネコンなど元請け企業も専門工事業業者に対する評価項目のひとつとして活用しはじめている。

今回掲載した「人材開発支援助成金」を活用すれば、コストを最小限に抑えつつ、これらのメリットを享受することができると、ぜひとも取得を目指していただきたい。

日本最大級のペットイベント「第8回インターペット」(主催：ペットフード協会(一社)・日本ペット用品工業会・メッセフランクフルトジャパン(株))が、3月29日〜4月1日の期間、東京ビッグサイトにて開催した。

「インターペット」は、ペットフード業界をはじめ、アパレル、旅行、自動車、健康器具、IT、小売、そして住宅・インテリアまで、ペットを切り口にさまざまな産業界の企業が集結する、業界横断的なイベントで、2010年の初開催以来、さまざまな業種の企業が参加するなど拡大を続けている。今年もJALが初出展し、ペット同伴客に対してペットマイレージを付与する新提案を行うなど航空業界からも参加、出展者数503社という過去最大規模の開催となった。来場者も4万2066名と過去最高を記録、大盛況だった。

その「インターペット」において、重要なテーマの一つとなっているのが「住宅・インテリア業界」である。サプタイトルが示す通り、「インターペット」は人とペットの豊かな暮らしの提案をメインとしており、都市化の影響で室内での飼育が増えている。

また、住宅関連として注目を集めたのは、賃貸物件オーナー向けのペット対応物件提案である。空室対策が大きな課題となっている賃貸業界において、ペットを同居促進策に用いようというもので、旭化成やワンニャンハウジングスクエア)において、ペット対応のインテリアやリフォームなどが提案された。

現在、日装連においても、「住宅・インテリア業界」への登録事業をすすめるなど、リフォームが重要なテーマになっているが、ペットもその切り口として活用できるのではないかと、なお今回は2019年3月28日〜31日に開催される。



### 潮流

平成28年度の「ものづくり白書」の記述に、ものづくりに対する若者の関心の弱さがある、との解説があります。このことについて、産学官の連携した支援活動を紹介していきます。

内装業界も若い人の入職者不足問題を抱えています。

今年の1月の終わりに、クロス団体が主催している、「壁紙の世界」というタイトルの企画を見学

しました。この業界を身近に感じてもらうために学生たちと一緒に壁紙を貼る作業をし、その楽しさやそこで働くひとたちの人間味を感じてもらい、将来の職業として

### 内装業界への関心を高めるには

#### 大石伸二

選んでもらいたいとの思いの取り組みです。さらに、学生たちにグループに分かれてもらい、部屋のコーディネートコンペを行い、後日、実際にその最優秀作品に基づいた施工までを実践し、「創る

業界を知ってもらうために、学校での出前講習、保育園でのボランティア、ものづくりフェアへの参加など各種の取り組みが行われています。人手不足が年々深刻さを増している業界の中で、こういっ

た活動に取り組んでいる方々には、深く敬意を表したいと思います。自分が30代、40代のときには、このような将来を見据えた取り組みを考える発想はありませんでした。今後、こういった活動と同時に、若い人たちがこの業界で夢の持てる生活が過ごせる環境にどう整えていくのか、この課題にも取り組んでいかなければなりません。

これから組合に携わっていく中で、これらの課題に自分が貢献できるのだろうか。そう自問自答しながら、一生懸命頑張りたいという思いを強くしています。

(大阪組合副理事長)



ワンニャンハウジングスクエア



旭化成ブース



# 北 北 南

## 日装連単組 レポート

### Mar. 2018 3

#### 北海道ブロック

#### 北海道

12日 第4回理事会案  
内送信。  
15日 ホームページ更

#### 東北ブロック

#### 青森

6日 増改築相談員研  
修会(仙台市)。小林理  
事長が出席。  
9日 日装連内装士教  
育資格委員会WGに小林  
理事長が出席。

#### 岩手

6日 岩装協一人親方  
特別加入共済会脱会者  
加入金変更手続きに事務  
局が岩手労働局へ。  
9日 岩装協一人親方  
特別加入共済会4月加入  
者1名の手続きに事務局  
が岩手労働局へ。

#### 宮城

6日 技能検定試験実  
施計画説明会に佐々木副  
理事長が出席。  
9日 役員会を開催。  
8名が出席。議題・2月  
現在収支報告と平成29年  
度収支見通しについて。

#### 茨城

19日 茨城県中小企業  
団体中央会茨城組合事務  
所来訪。昨年10月開催  
の「あなたの町と暮らし  
に寄り添う中小企業フェ  
ア」についてのアンケー  
ト。

#### 福島

15日 県職業能力開発  
協会と技能検定実施に向  
けて協議。本田理事長  
川上専務理事が出席。  
16日 県建設専門工事  
業団体連合会第17回通常  
総会に本田理事長が出  
席。

#### 群馬

2日 群馬県職業能力  
開発協会平成30年度前期  
技能検定説明会に久保田  
技能士会長、青木技能士  
会副会長が出席。  
3日 群装協東毛支部  
会開催。支部会員5名が  
参加。  
7日 群装協3月度理  
事会を開催。久保田理事  
長他計15名と事務局中川  
氏が出席。  
8日 日本クリーナー  
ズ防炎協会「防炎加工技  
術講習会」(三多摩組合  
より案内)に久保田雅幸  
理事が出席。  
同日 群馬県中小企業  
団体中央会業種別組合理  
事長懇談会。情報提供・  
「建設業の人材育成につ  
いて」。関東地方整備局  
建設部建設産業第一課  
課長北原順氏。意見交換  
懇談を実施。治田副理事  
長が参加。  
9日 日装連内装士・  
教育資格委員会WGに  
久保田理事長が出席。  
11日(一社)日本内  
装仕上技能士会連合会  
理事会に青木副理事長が  
出席。  
13日 日装連より、中  
央技能検定委員会内装仕  
上げ施工(カーペット系  
床仕上げ工事作業)。青  
木副理事長が出席。

#### 山形

作成。組合員に発送。  
26日 三役会議を開催。  
5日 県中央会事業  
「組合運営実務研修会」  
に安孫子事務局長出席。  
6日 平成30年度前期  
技能検定受験者募集説明  
会に安孫子事務局長が参  
加。

#### 関東ブロック

☆16日 日装連関東ブ  
ロック会臨時理事長会議  
を開催。  
19日 茨城県中小企業  
団体中央会茨城組合事務  
所来訪。昨年10月開催  
の「あなたの町と暮らし  
に寄り添う中小企業フェ  
ア」についてのアンケー  
ト。

#### 栃木

2日 栃装協青年部役  
員会開催。伊藤会長、福  
田副理事長が出席。

#### 秋田

22日 内装見積りに対  
する歩掛人工計算及び法  
定福利費計算表のCDを

#### 新潟

22日 日装連常任理事  
会に角田理事長出席。  
23日 日装連青年部次  
世代ヒアリング会(沖繩)  
に角田理事長が出席。  
29日 埼玉県建設産業  
担い手確保・育成ネット  
ワーク総会に事務局が出  
席。

#### 千葉

10日 第30回千葉県建  
築学生賞協議会・表彰  
式。次世代育成の一環と  
して、県内の4年制大学  
等の建築系学科及び工業  
高校から選ばれた卒業制  
作を集め、優秀作品を表  
彰する会に千装協も協賛  
し、式典に参加。藤間理  
事長、事務局が出席。  
15日 「外国人技能実  
習制度」と「就労者受入  
事業」。人口減少に伴い  
人手不足の国策として、  
外国人の活動推進のため  
の趣旨や注意点などの活  
用法。藤間理事長、事務  
局が出席。  
16日 千葉県中小企業  
団体中央会「平成29年度  
第3回理事会及び中小企  
業連盟通常総会」に藤間  
理事長が出席。  
同日 千葉県職業能力  
開発協会「平成29年度第  
2回理事会及び臨時総  
会」に鳥飼事務局長が出席。  
27日 定例理事会開  
催。議題・組合組織再編  
成について(委員会他)。  
平成30年度事業計画につ  
いて。保険幹事手数料に  
ついて他。

#### 東京

14日 正・副理事長会  
開催。議題・3月定例理  
事会議議内容の確認。理  
事長、副理事長3名、事  
務局1名が出席。  
同日 定例理事会開  
催。内容・組合員等加入  
脱退承認の件。賦課金  
会費の未納者について。  
第60回通常総会に関する  
件。「壁装の知識と施工  
実技」研修会開催に関す  
る件。第151回防火壁  
装・防炎業務講習会開催  
に関する件。化粧フィル  
ム工事作業技能検定に関  
する件。各委員会、研究  
会、日装連関連報告他。  
理事13名、事務局2名出  
席。  
20日 広報委員会開  
催。議題・3月号の編集  
結果報告。4月号の編集  
方針について。委員2名、  
事務局2名が出席。  
同日 環境研究会開  
催。議題・次年度体制に  
ついて。委員1名、事務  
局2名が出席。  
26日 企画事業委員会  
開催。議題・東装協秋の  
交流会について。委員会  
体制について。委員2名、  
富澤理事長、事務局1名  
が出席。

#### 神奈川

5日 平成30年度前期  
技能検定等個別相談会・  
申請書の配布。渡邊専務  
理事、事務局が出席。  
9日 関東ブロック青  
年部・次世代委員会に渡  
邊専務理事が出席。  
16日 平成30年度労働  
保険事務組合年度更新事  
務説明会。事務局出席。  
19日 基礎級技能検  
定。内装仕上げ施工(カ  
ーペット系)・フィリッ  
ピン実習生2名が受験。内  
装仕上げ施工(プラスチック系)・中国実習生2  
名が受験。長澤理事、田  
子氏を検定委員として派  
遣。  
23日 神奈川県団体中  
央会第3回理事会に渡邊  
専務理事が出席。

#### 山梨

22日 平成30年度労働  
保険事務組合年度更新説  
明会。桜井理事長他6名  
が出席。議題・化粧フィ  
ルム工事作業技能検定に  
ついて他。

#### 新潟

2日 建設専門業の経  
営革新支援研修会に樋浦  
理事長、佐々木副理事長  
が出席。  
6日 障がい者生活ス  
テーション「さんろーど」  
にて下越支部ボランティア  
活動。内容・2階床改  
修工事。5名が参加。(写  
真掲載)

#### 富山

4日 関係団体特別  
講演会に原理事が出席。  
5日 忠政会総会に宮  
崎理事長が出席。  
6日 定例理事会を開  
催。決算、総会、来年度  
の行事について。  
21日 たばた裕明君を  
励ます会に宮崎理事長が  
出席。

#### 石川

8日 三役会を開催。  
議題・メーカ、問屋部

#### 福島

15日 県職業能力開発  
協会と技能検定実施に向  
けて協議。本田理事長  
川上専務理事が出席。  
16日 県建設専門工事  
業団体連合会第17回通常  
総会に本田理事長が出  
席。

#### 群馬

2日 群馬県職業能力  
開発協会平成30年度前期  
技能検定説明会に久保田  
技能士会長、青木技能士  
会副会長が出席。  
3日 群装協東毛支部  
会開催。支部会員5名が  
参加。  
7日 群装協3月度理  
事会を開催。久保田理事  
長他計15名と事務局中川  
氏が出席。  
8日 日本クリーナー  
ズ防炎協会「防炎加工技  
術講習会」(三多摩組合  
より案内)に久保田雅幸  
理事が出席。  
同日 群馬県中小企業  
団体中央会業種別組合理  
事長懇談会。情報提供・  
「建設業の人材育成につ  
いて」。関東地方整備局  
建設部建設産業第一課  
課長北原順氏。意見交換  
懇談を実施。治田副理事  
長が参加。  
9日 日装連内装士・  
教育資格委員会WGに  
久保田理事長が出席。  
11日(一社)日本内  
装仕上技能士会連合会  
理事会に青木副理事長が  
出席。  
13日 日装連より、中  
央技能検定委員会内装仕  
上げ施工(カーペット系  
床仕上げ工事作業)。青  
木副理事長が出席。

#### 茨城

19日 茨城県中小企業  
団体中央会茨城組合事務  
所来訪。昨年10月開催  
の「あなたの町と暮らし  
に寄り添う中小企業フェ  
ア」についてのアンケー  
ト。

#### 宮城

6日 技能検定試験実  
施計画説明会に佐々木副  
理事長が出席。  
9日 役員会を開催。  
8名が出席。議題・2月  
現在収支報告と平成29年  
度収支見通しについて。



新潟組合6日 ボランティア活動





香川組合

全国でもっとも面積の小さい香川県であるが、関西圏とのアクセスが良いため、国の出先機関や大手企業の支店も多数所在する。四国地方の政治・経済の玄関口として発展してきた。また近年では、瀬戸内国際芸術祭を中心とする「島巡りアート」が注目されるなど文化的魅力も高まっている。

今回はその香川県の建設・インテリア市場を担う香川組合を訪問し、原義武理事長(株山屋)、伴山剛士副理事長(有馬イダスーK24)、矢野和宏副理事長(株ヤノインテリア)、三井徹次代理事(株幸和)、および藤井武志会計理事(不二装飾)にも後日装連事務局にてお話を伺い、市場動向や今後重視する取り組みについて語っていただいた。



香川組合の皆さん。前列中央が原理事長

ホテル需要を中心に市場は上向き  
一方で職人不足は深刻化

近年の香川県の経済動向で特徴的なのが外国人を含む観光客の増加である。その牽引役がアート

で、瀬戸内国際芸術祭の期間はもちろん、直島などアートで有名な島々を巡る人たちが全国から訪



藤井会計理事

れている。また台湾と韓国からはLCCの直行便が就航、アートを目当てにした外国人観光客が大幅に増加しているという。そうした新たな観光資源との相乗効果で、金刀比羅宮や栗林公園のような伝統的な観光地に訪れる人たちも増え、これまで四国の旅行者に通過されることが多かった香川県に、宿泊するニーズが非常に高まっている。

「市況は悪くありません。そのこと自体は良いことなのですが、それに比例するように職人不足が深刻化しています。年度末は本当に大変でしたが、こうした状況はしばらく続くと思います」と原理事長は語る。

全国的な傾向である少子化に加え、地方都市で

「職人育成塾」「外国人実習生制度」など  
若年技能者の確保・育成事業に協力

その一つが、一昨年に設立された「職人育成塾」である。「職人育成塾」については本紙でもたびたび紹介しているが、日装連・西浦理事長が会長を務める(株幸和をはじめ香川県内の建設・内装関連業者9社によって設立した職人養成学校だ。

全国から未経験の若者を無料(宿泊込み・食費は別途)で受け入れ、約2カ月間の研修期間のうちに壁紙、軽天・ボード、タイル、左官、木工事など9業種の技能の基礎を教えるとともに、玉掛け技能、フォークリフト運転といった必要な資格取得の支援、そして就職の斡旋を行なっている。過去3回の実施ですでに40人以上が卒業し、その多くが建設・内装業界に入職した。設立メンバーである(株幸和)には、3名の卒業生が就職し現場で活躍中とのことだ。

「組合としては講師を派遣するなど職人育成塾の支援を行なってきましたが、今後はさらに卒業生が増加していただくことを踏まえて、受け入れも検討しています。ただし組合員の規模や業態もさまざまです。どのよう

な受け入れの形がいいのか、現在議論しているところだ。」

なお今年6月からは第4回職人育成塾が開講される予定である(現在入塾生募集中)。

そしてもう一つの具体策が、藤井氏が新規事業としてスタートする、ミャンマー人を対象にした外国人技能実習生の受け入れである。

周知の通り、「外国人技能実習制度」とは、発展途上の若者が日本の技能を習得するべく3年間(条件を満たせば5年間)の実習実施機関(企業など)との雇用関係の下に就労する制度である。

現在、建設業界の外国人実習生の受け入れは、人手不足を背景に増加傾向が続いているが、とびや鉄筋、型枠といった躯体関連、および軽天・ボードがメインで、壁紙などの内装仕上げ分野は受け入れが進んでいないのが実情である。

若年技能者を確保・育成する具体的な取り組みがスタートしています。組合として、その取り組みを支援する方向で動いているところです。」

習生として派遣するといふものだ。具体的には、現地に職人養成学校を設立し、日本から施工道具、糊付け機、そしてパテや壁紙などの研修用材料を送って、日本式の壁紙施工を徹底して教えるというもの。研修期間は6カ月間で、講師は藤井氏自身が務める。

内装業界において技能実習生の受け入れが進まない原因は、仕上げの最終工程のために精緻な作業が求められるからだ。初心者の外国人を受け入れた場合、しばらくの間は雑務程度しか任せることができない。しかし藤井氏の事業モデルでは、すでに壁紙施工の基礎を身に付けた上での派遣となるため、即戦力に近い形で貢献することができると期待している。

現地の職人養成学校は



職人育成塾(研修中)

今年6月に開校する予定で、実習生の受け入れ手続きを行う団体を通じて、すでに51名の入学が決まっている。

「ミャンマーの人たちは真面目で性格が温厚ですから、日本人とすぐに馴染むと思います。言葉も日本語と文法が似通っていますので習得も早いと思います」と語る藤井氏。今後3年で1000名程度の派遣を見込んでいるとのことだ。

これに対して、香川組合では、外国人技能実習生の受け入れ策を組合事業として検討している他、派遣規模が大きいため四国アロックへも事業化の提案を行い、さらには日装連全体での対応を申し入れていく考えだ。

組合全体で力を合わせ  
難題に取り組んでいく

このように、人材確保・育成の取り組みがより具体的な形で進む香川県であるが、その前提として

社会保険への加入、法定福利費の計上問題、そして技能向上は必要不可欠な取り組みとなる。



昨年度の技能検定

「特に法定福利費の計上は、組合として常に指導しています。人手不足が深刻化している中で、ゼネコン側もご理解いただける状況になってきていますから、足並みを揃えていきたいですね」

また今年度からスタートする技能検定「化粧フィルム工事作業」も初回から実施、住宅リフォーム事業者団体登録を見据えて設立する新団体にも6社が参加するなど前向きに取り組んでいる。

「1社では難しいことも、組合として力を合わせれば実現できることがあります。これからも一致団結して、難題に取り組んでいきたい」と語る原理事長であった。

水平循環型リサイクルタイルカーペット  
「ECOS® (エコス)」LX シリーズ 好評発売中

再生材比率 70% CO2削減率 -32%

※CO2削減率は当社従来品比です。

ECOS®

セールネットワーク  
【販売】株式会社 スミノエ  
http://suminoe.jp/interior

【製造】住江織物株式会社

最新ニュースは  
『日装連ホームページ』へ  
<http://www.nissouren.jp>

インテリア業界最新ニュース  
行政機関からの指導・伝達  
法律・法令  
日装連からの情報伝達  
日装連新聞 最新号&バックナンバー  
イベントカレンダー  
日装連スケジュール

日本室内装飾事業協同組合連合会(日装連)  
「見える」防災・防火のある暮らし

検索